【最優秀賞】

株式会社ミラプロ
（北杜市、代表取締役：津金　洋之、従業員：780 人）

＜概　要＞
　AI を活用し、これまで熟練作業者の目視に依存していたメガネレンズの外観検査を自動化するシステム。レンズの傷や異物等を検出し、検査品質の安定化と作業負担の軽減に貢献する。

＜受賞理由＞
　眼鏡レンズは、透明体であるため傷や内部の異物・気泡等の見え方が角度によって変化し、サイズ・形状・度数も多様であることから、外観検査の自動化には高度な技術が求められる。
　この課題に対し、独自の撮像・画像処理技術と AI を組み合わせ、透明な眼鏡レンズの微細な欠陥を安定して検出する検査システムを開発したことを高く評価した。







【優秀賞】

ファスフォードテクノロジ株式会社
（南アルプス市、代表執行役社長：粟生　浩之、従業員：221 人）

＜概　要＞
　生成 AI データセンターの大容量ストレージに用いられる NAND 型フラッシュメモリの製造を支える半導体製造装置。薄型の半導体チップを高精度に積み重ねることによって、メモリの大容量化と安定した量産に貢献する。

＜受賞理由＞
　生成 AI の普及に伴いデータ量が増加する中、大容量ストレージの中核となる NAND 型フラッシュメモリには、一層の高密度化が求められている。
　この課題に対し、極薄チップの高精度な位置決め、安定した搬送及び清浄性の向上を実現し、高品質・高信頼性の量産に対応するダイボンダを開発したことを高く評価した。





【優秀賞（小規模事業者）】

有限会社ティ．エム．ワークス
（富士河口湖町、代表取締役：轟　秀明、従業員：７人）

＜概　要＞
　空港や養殖場、農業施設等に飛来する鳥を音によって遠ざけ、事故や食害、ふん害等の軽減を図る鳥類忌避装置。設置環境に応じて、現地調査から機器の配置設計、施工、保守までを一体的に提供する。

＜受賞理由＞
　鳥の種類や設置環境の違いを踏まえ、様々な現場に対応できる鳥類忌避装置を開発した。
　現場での実証と改良を重ねて実用性を高め、鳥の飛来による事故や被害の軽減に貢献する取組を高く評価した。









【審査委員奨励賞】

宮下織物株式会社
（富士吉田市、代表取締役：宮下　珠樹、従業員：6 人）

＜概　要＞
　郡内織物産地で培われた織物技術を生かし、テキスタイルを衣服等の材料にとどめず、鑑賞性と意匠性を備えたアート作品として展開する取組。ホテル等の空間装飾や、作家・ブランドとの協働による新たな市場開拓を目指す。

＜受賞理由＞
　郡内織物の高度な技術を生かし、従来の衣料用途にとどまらない新たな価値と販路を生み出す取組である。
　織りと加工の技術を組み合わせ、豊かな色彩、奥行き及び立体感を持つ作品を実現した独自性と、地域の織物技術の継承及び高付加価値化につながる取組を期待したい。

作品写真：渡邊竜康 氏



作品写真：渡邊竜康 氏



【審査委員奨励賞】

武の井酒造株式会社
（北杜市、代表取締役：清水　元章、従業員：2人）

＜概　要＞
　自社製の本格米焼酎をベースに、県産梅及びハーブ等を用い、季節ごとに異なる香りと味わいを楽しめる梅酒。TAKENOI GARDEN ブランドとして、山梨の自然や四季を感じられる新しい酒の楽しみ方を提案する。

＜受賞理由＞
　長年培った酒造・蒸留技術を生かし、味わいを中心としてきた従来の梅酒に、香りを主役とする新たな価値を加えた。
　天然素材の特徴を引き出し、飲み始めから余韻まで香りの変化を楽しめる商品として仕上げた独自性と、新たな顧客層を開拓する可能性を期待したい。



【審査委員奨励賞】

トーヨーコーケン株式会社
（南アルプス市、代表取締役社長：渡邉　一人、従業員：120 人）

＜概　要＞
　立坑や高所設備等における長い梯子の昇降を補助し、作業者の負担を軽減する昇降アシスト装置。インフラの工事や設備の点検･保守における安全性と作業性の向上に貢献する。

＜受賞理由＞
　長年培ってきたホイストとバランサーの技術を組み合わせ、作業者の動きに追従して自然な昇降を補助する装置を開発した。
　現場検証を重ねて操作性と安全性を高め、人による作業が欠かせないインフラの工事、点検・保守を支える実用性と、今後の幅広い展開可能性を期待したい。









【審査委員奨励賞】

ジェネリック化粧品株式会社
（甲府市、代表取締役：新津　和也、従業員：18 人）

＜概　要＞
　高品質な化粧品を継続して使用しやすい価格で提供することを目指し、企画、研究開発から製造、販売までを山梨県内で一貫して行う化粧品ブランド。品質と価格の双方を重視する消費者へ、新たな選択肢を提案する。

＜受賞理由＞
　広告宣伝や流通の在り方を見直す一方、原料、処方、研究開発及び品質管理には重点的に投資し、高品質と続けやすい価格の両立を図る事業モデルを構築した。
　山梨県内に企画、研究開発及び製造の機能を置き、山梨発の化粧品ブランドとして成長を目指す取組を期待したい。



















